



申込書の記入のしかたについて

●この「記入のしかた」を参考にして、申込書に記入してください。
下の申込書記載例中の丸数字に従って、〈書き方の説明〉をご覧ください。

記載例

第3号様式
令和5年11月募集

市営住宅入居申込書

[表側]

(あて先) 横須賀市長 令和 5年 11月 20日

私は市営住宅に入居したいので、次のとおり申込みます。申込みにあたり、基準日に市税の滞納がないことを確認しました。この申込書の記載内容が事実と異なるとき、または私もしくは同居しようとする親族が暴力団員である等申込資格を有していないときは、申込みを無効とされても異議を申し立てません。また、優遇、裁量階層及び单身資格に係る事項、世帯の収入状況及び市税の滞納について調査することに同意します。

上記調査に対して同意される方は下記同意欄の にチェックを入れてください。

申し込み 住宅	① 申込番号 9203	フリガナ ヨコスカ ハルオ	連絡先(電話・携帯) 呼出し (046) 822-XXXX							
郵便 番号	238-0013	氏名 横須賀 春男	現住所 横須賀市平成町XX番地 小川 アパート(住)方 101号室							
本人 勤務先	〇〇商事(株)	所在地 横須賀市平成町X-X	部署 総務課							
優遇 項目	① 母子 ② 高齢者 ③ 多子 ④ 子育て 世帯 ⑤ 心身 障害者 ⑥ 難病 患者 ⑦ 戦傷 者 ⑧ 原爆 被爆者 ⑨ 海外 引揚者 ⑩ ハンセ ン病 ⑪ 3年落 選 ⑫ 5年落 選 ⑬ 7年落 選 ⑭ 特定年 齢世 帯	妻 身 体 3級	⑤							
裁量 階層	① 全員が60歳以上か18歳未満 ② 心身 障害者 ③ 難病 患者 ④ 戦傷 者 ⑤ 原爆 被爆者 ⑥ 海外 引揚者 ⑦ ハンセ ン病 ⑧ 中学校卒業後の子に在る	妻 身 体 3級	⑥							
市内居住期間	8年 2か月	① 60歳以上 ② 心身 障害者 ③ 難病 患者 ④ 戦傷 者 ⑤ 原爆 被爆者 ⑥ 生活 保護 ⑦ 海外 引揚者 ⑧ ハンセ ン病 ⑨ DV被害 者	⑧							
市内勤務期間	年 月 日	① 有 ② 無 ③ 有 ④ 無 ⑤ 有 ⑥ 無 ⑦ 有 ⑧ 無 ⑨ 有 ⑩ 無 ⑪ 有 ⑫ 無 ⑬ 有 ⑭ 無 ⑮ 有 ⑯ 無 ⑰ 有 ⑱ 無 ⑲ 有 ⑳ 無	⑩							
続柄	同意欄	フリガナ 氏名	生年月日	年齢 (22日現在)	同居 別居	扶養	裁量階 層資格	職業	年間(推定) 総収入金額	年間所得金額
本人(申込者)	<input checked="" type="checkbox"/>	ヨコスカ 横須賀 春男	大・昭・平・令 47.10.30	51	有 無	有 無	有 無	会社員	3,784,459	2,587,200
妻	<input checked="" type="checkbox"/>	ヨコスカ 横須賀 秋子	大・昭・平・令 49.8.5	49	同 別	有 無	有 無	無職	0	0
子	<input checked="" type="checkbox"/>	ヨコスカ 横須賀 夏江	大・昭・平・令 17.8.17	18	同 別	有 無	有 無	高3	0	0
妻の母	<input checked="" type="checkbox"/>	ヨコハマ 横須賀 冬美	大・昭・平・令 12.11.22	86	同 別	有 無	有 無	年金	753,600	0
	<input type="checkbox"/>				同 別	有 無	有 無			
	<input type="checkbox"/>				同 別	有 無	有 無			
入居する婚姻者等・別居者の現住所	住所	入居しない 別居扶養者	住所 氏名	続柄	年齢	年間所得金額計	B			
住所	横須賀市中区長者町X-X-X		氏名			2,587,200	円			
現在住んでいる住宅	① 民間賃貸住宅 ② 社宅 ③ 県・市有住宅 ④ UR(旧公団)・公社住宅 ⑤ 両親等の家 ⑥ その他	① 6								
困っている理由	① 他の世帯と同居(誰と)	④ 遠距離通勤(片道 時間 分)	⑦ 婚約中等							
	② 台所、トイレ、浴室の設置なし	⑤ 住宅でない建物に居住	⑧ 正当な立ち退き要求を受けている(理由)							
	③ 住宅が狭い(一人あたり4畳以下)(居室合計 畳/一人あたり 畳)	⑥ 家賃が高い(駐車場代、共益費除く)(月額 80,000 円)	⑨ その他(離婚等)							
以前市営住宅に住んでいた方は住宅名を記入してください。	XXXアパート									

◎必ずどちらかを
ご記入ください。

◎同意欄を必ず
ご確認ください。

◎入居する家族が申込時点で別居
している場合は必ずご記入ください。

◎日中の連絡先(電話・携帯電話)を
必ずご記入ください。

◎総収入金額と年間所得金額は
異なります。

◎必ずご記入ください。

裏面の「申込資格確認表」で申込資格を確認し、チェックをしてください。

〈書き方の説明〉表例

① 申し込む住宅

32ページからの募集住宅一覧表をご覧になり、希望する住宅の申込番号(募集住宅一覧表の1番左の4ケタの番号 例:3803、72K1等)を1つ記入してください。

*1人で申し込む(配偶者のない)方は、募集住宅一覧表の「申し込みできる世帯」欄に「单身」と表示されている住宅。
*2人以上の世帯で申し込む方は、募集住宅一覧表の「申し込みできる世帯」欄に「一般」と表示されている住宅。

※受付後の申込住宅の変更はできません。

② 氏名・電話番号

氏名欄には申込者(入居するときに名義人になる人)の氏名を記入してください。

日中に連絡がつく電話番号または携帯電話番号を必ず記入してください。

③ 現住所

現住所はアパート名や〇〇方まで、正確に記入してください。

また、郵便番号も必ず記入してください。

④ 本人勤務先

会社にお勤め(パートやアルバイトを含む。)や自営の方は、申込時点での会社名・所在地・電話番号等を記入してください(連絡をする場合があります。)

⑤ 優遇項目

10~11ページをご覧になり、該当する項目すべてに○印を付けてください。

※⑤心身障害者優遇のア~エに該当する方は、どなたが何の障害で何級かを空欄に記入してください(記載例参照)。

※当選後の資格審査で、優遇資格のないことが判明した場合は失格となります。

⑥ 裁量階層

13ページの裁量階層対象世帯をご覧になり、該当する項目すべてに○印を付けてください。

⑦ 市内居住期間・市内勤務期間

市内居住期間・市内勤務期間のどちらかが、引き続き6か月以上でないとは申し込むことはできません。

※どちらかの期間を必ず記入してください。

⑧ 单身資格

1人で申し込む(DV被害者を除く配偶者のない)方は、7ページ「单身(特定の資格あり)で申し込む方が必要な資格」をご覧になり、該当する項目に○印を付けてください。

⑨ 氏名等

続柄・氏名・生年月日は、戸籍上のものを記入し、年齢は、令和5年12月1日現在で記入してください。

⑩ 同意欄

市営住宅の入居資格等に係る事項についての調査に同意される申込者及び入居する家族の方は、同意欄の□にチェックを入れてください。同意いただけないまたは同意欄にチェックがない場合、資格審査時にご自身で資格審査に必要となる書類(住民票、納税証明書等)をご持参いただく場合があります。

⑪ 同居・別居等

同居・別居・扶養・裁量階層資格の欄は、すべて令和5年12月1日現在の状況で記入してください。

*同居・別居欄 → 現在申込者と同居していれば「同」を、別居している場合には「別」を、○で囲んでください。

*扶養欄 → 扶養している方や誰からも扶養を受けていない方は「無」を、扶養を受けている方は「有」を、○で囲んでください(ここでの扶養とは所得税法上の扶養をいいます。)

*裁量階層資格欄 → 裁量階層資格を有する方のみ「有」を○で囲み、それ以外の方はすべて「無」を○で囲んでください。

(例:申し込んだ家族のうち、妻が障害1級で裁量階層資格を有する場合→妻の裁量階層欄だけ「有」を○で囲み、その他の家族の裁量階層欄は「無」を○で囲む。)

*職業欄 → 会社員の場合は「会社員」、自営の場合は「自営業」、パートやアルバイトの場合は「パート」「アルバイト」、年金受給者の場合は「年金」、無職の場合は「無職」、学生の場合は「小1」、「中2」と記入してください。



申込書の記入のしかたについて

〈書き方の説明〉表側

⑫ 年間(推定)総収入金額・年間所得金額

14～22ページの「月収額の算出方法」をご覧ください。家族一人ひとり、収入・所得の種類に応じ、年間(推定)総収入金額と年間所得金額を計算します。



年間(推定)総収入金額と、年間所得金額の計算結果を記入してください(記入欄を間違えないようご注意ください。)

⑬ 入居する婚約者等・別居者の現住所

現在は別に住んでいるが、一緒に入居する婚約者等・別居者がいる場合には、その方の現住所・電話番号を記入してください。

⑭ 入居しない別居扶養者

入居する方の所得税法上の扶養親族の中に、一緒に入居しない方がいる場合には、その方の住所・氏名・続柄・年齢を記入してください。

⑮ 年間所得金額計B

先に⑫で記入した家族一人ひとりの年間所得金額をすべて合算して、その合計金額を記入してください。

⑯ 現在住んでいる住宅

あてはまる箇所を○印で囲んでください。ただし、「⑥その他」に該当する場合は、()に現在の住宅の形態を記入してください(例：勤務している会社の事務所、倉庫等)。

⑰ 困っている理由

6ページの5をご覧ください。あなたの現在の住宅で、住宅に困っている理由(該当する項目)を○印で囲んでください。

また①③④⑤⑥⑧⑨の理由で申し込みをする方は、各項目の()欄には次の内容を記入してください。

- ①現在同居している方との関係
- ③家の居室部分の合計畳数、及び一人あたりの畳数
- ④片道の通勤時間
- ⑤現在、居住している場所(倉庫等)
- ⑥月額を支払い家賃(駐車場代、共益費除く。)
- ⑧正当な立ち退き要求の理由(自己の責めに帰すべき事由に基づく場合を除く。)
- ⑨その他の困窮理由(近隣トラブル等は、困窮理由となりません。)

※該当する項目のない方は、申し込むことはできません。

⑱ 以前市営住宅に住んでいた場合

以前市営住宅に住んでいた方は、住宅名を記入してください。



月収額の計算

[裏側]

年間所得金額計 B	2,587,200 ^円	
控除の種類とその金額	控除金額	
1 親 族 38万円× 3人 =	1,140,000 ^円	
2 基礎控除振替 給与、年金所得が10万円以上の人 10万円× /人 = 給与、年金所得が10万円未満の人はその金額	100,000 ^円	
3 老人控除対象配偶者 10万円× /人 =	100,000 ^円	
4 老人扶養親族		
5 特定扶養親族 25万円× /人 =	250,000 ^円	
6 障 害 者 27万円× /人 =	270,000 ^円	
7 特別障害者 40万円× 人 =	円	
8 寡 婦 所得が27万円以上の人 27万円× 人 = 所得が27万円未満の人はその金額	円	
9 ひ と り 親 所得が35万円以上の人 35万円× 人 = 所得が35万円未満の人はその金額	円	
控 除 額 計 C	1,860,000 ^円	
月 収 額 (B - C) ÷ 12	60,600 ^円	

※原則として、所得税法上の控除を受けられている方が対象となります。

〈書き方の説明〉裏側

⑲ 月収額の計算

14ページの「9 控除の内容と金額」をご覧ください。該当する控除を確認したうえで控除金額を記入し、「控除額計C」を計算します。そして、先に⑮で記入した「年間所得金額計B」から「控除額計C」を差し引いて、12で割ります。

割って出た数字(小数点以下切り捨て)が「月収額」です。

この「月収額」が基準額以下であることが必要です。

基準額

※申し込む住宅が、改良住宅等(34～35ページ、46～47ページ)の方は、
→月収額が114,000円以下であること。
ただし、13ページの「2 裁量階層について(月収額の特例)」に該当する方は、月収額が139,000円以下であれば申し込みができます。

※申し込む住宅が、公営住宅等の方は、
→月収額が158,000円以下であること。ただし、13ページの「2 裁量階層について(月収額

の特例)」に該当する方は、月収額が214,000円以下であれば申し込みができます。

*申し込む住宅が、子育てに適する市営住宅(32～33ページ)の方は、
→月収額が104,000円を超え、214,000円以下の世帯となります。

最後に

申し込みを行う前に6～9ページの「申込資格について」をよくご覧になり、申込書の裏面の「申込資格確認表」(「一般用」または「子育てに適する市営住宅用」)で申込資格を再度確認してください。

「申込資格確認表」の1～9までのすべての確認欄にチェックが入る方のみ申し込みができます。

※申込資格がない場合や、申込書の記入もれの場合も失格となります。